# エスペラント 🛨



Verda Placo 2013 printempo みどりのひろば

2013 年 春

N-ro 21

# Harima Esperanto-Societo (はりまエスペラント会)



カタクリ (eritronio)

# ホワイトライオンの「ルーモ」 Pri blanka leono "Lumo" naskita en Himezi



2年前、姫路セントラルパークで生まれたホワイトライオンの1頭が、エス ペラントで「ひかり」を意味するルーモ(Lumo)と命名されたそうです。同 園のホームページには、2013年4月10日現在も次のようにあります。

<2011年6月20日に姫路セントラルパークで飼育しているホワイトライオ ン (愛称:ヤヤ) が赤ちゃん 3頭 (オス1頭・メス2頭) を出産いたしました。 関西では当園でのみ飼育を行っているホワイトライオンであり、今回初めての 出産に成功いたしました。> そして、<「シャイン」「ルーチェ」「ルーモ」 はそれぞれ英語、イタリア語、エスペラント語で「ひかり」を意味します。エ スペラント語は岩手にゆかりのある宮沢賢司も学んだ人工の世界共通語です。 3頭の赤ちゃんたちがエネルギーに溢れた光のような私たちの希望となり、ま た平和で明るい世界の象徴となって元気に育ってくれることを願っています。 > この文の宮沢賢司は、もちろん、賢**治**の間違いです。このニュースは、当 時、神戸新聞姫路版で次のように報じられました。

<名前は全国 450 通の応募の中から、岩手県の学生八重樫結さん(19)のア イデアが選ばれた。命名式で、「大震災で私も被災し、復興への願いを込めて 名付けました。3頭がみんなの希望になってもらえたら」という八重樫さんの コメントが読み上げられた。>

しかし、この「ルーモ」は、その後秋吉台サファリパークに貰われていき、 姫路には居ないらしいが、ホームページはそのままです。

(峰芳隆)

## Fiŝado

TADA Rjuĵi

Mia patro ŝatis fiŝadon. Li naskiĝis kaj kreskis en insulo. En mia infaneco, mia familio ofte iris fiŝi polpon en aŭtuno kun fiŝisto per fiŝista boato. Mia patrino kaj fratino elŝipiĝis sur la malgranda insulo (rokejo) ĉirkaŭa ĉirkaŭ 30m. La viroj fiŝadis ĉe la proksima maro. Tagmeze, la fiŝisto kuriris fiŝaditajn polpojn kaj rafanojn. Ni manĝis ilin kaj preparitajn rizbulojn fare de mia patrino.Mia familio pasigis ĝojan kaj feliĉan tempon ĉe maro de la malgranda insulo. Kaj tre bongusta ĉio estis. Ĝis la tria lernojaro de la elementa lernejo. Mi loĝis en la proksima maro. Ni ofte iris por ludo kune kun infanaj amikoj ĉe la maro. Ni manĝis ekinojn kaj konkulojn. Pliaĝaj infanoj kaptis turbojn kaj haliotojn en maro profunda. Antaŭe elementa lernanto mi iris kun patro al la insulo, kie mia patro naskiĝis Li veturis kun mi per barĝo.

Kaj iris malproksime de la bordo. Subite, mia patro levis min en la brakoj, kaj forjetis min al maro. Mi ne povas naĝi ĝis tiam.

Eĉ nun mi rememoras fundon de barĝo de submaro.

Sed,de tiam mi ekpovis naĝi kaj subakviĝi..

Ĉirkaŭ 1992 ni fondis la fiŝadan klubon en nia kompanio.

La klubo nomiĝas "Kiss klubo".

La klubo movadis kvin fojoj en ĉiu jaro. Mi ne memoras grandajn aŭ mirindajn fiŝojn. Sed ni kuiris kaj manĝis la fiŝojn kaptitajn dum ni drinkis. Kiam ni estis dormemaj, tiam ni dormis.

Tiel ni pasigis tempon plej bone. Neatendite, mi post dormo kaptis grandajn kapitaĵojn. Homoj de malnova tempo diris."Feliĉo iam venos al tiu kiu atendas." Ni iris por fiŝi al diversaj lokoj.La fiŝada tranoktado de Toba, la floso de Naruto, Ŝodoŝima, Japana maro, Takasago, Suma, Maiko k.t.p.

# Kumorigawa

**BABA** Tkie

En Isimori urbeto, rivereto fluas al Kakogawa-rvero el Inamiĉo. La nomo estas kumorigawa. En printempo,sur digo kolzaj froloj kovras kaj areo de sakuroj daŭras. Mi ŝatas promeni kun hundo apudo kumorigawa.

Tiam nepetoj venis al mia domo, ili diris al mi "ni volas iri al rivero". Ili ŝatas fiŝi per reto. En rivereto estas multaj fiŝetoj, usonajkanroj,karpoj kaj kobitidoj. Mi havis skizkajeron kaj iris tien kune. Ni ludis tie forgesi tempon. Tio estis longa longa tempon,kvankam mi ŝatas amindan ilin, tamen mi estis jom laca.

nin vokas nepo kun reto en manetoprintempa akuvo

# エスペラントは私のあこがれ

馬場 祝栄

私の父はエスペランチストでした。私が生まれて40日目に出征、ソ連の捕虜となり、そのまま帰らぬ人となりました。私は、もの心ついた時から意味もわからずにエスペラントという言葉にあこがれていました。小学生のころ、宮沢賢治の童話でエスペラントということという言葉を見つけてびっくりしました。

大きくなるにつれ時々エスペラントのことを目にする機会がありましたが、 勉強するようになったのは、10年くらい前、母が亡くなり遺品を整理してか らです。父と母の絆を大事にしたいと思いました。

まず、通信講座を受けました。5年かかりました。その後、はりまエスペラント会に入会しました。現在、夫と娘と3人暮らしで、時間にも余裕ができました。エスペラントの世界の面白さ、奥深さがだんだん分かってきたような気がします。エスペラントの女子会もでき、楽しいです。今、結構エスペラントに燃えています。(エスペラント10月号の新入会員紹介記事より)

私はエスペラントの勉強のために以前より俳句を勉強しています。NHKの俳句にも投稿していますが、その俳句誌2月号に佳作で載りました。うれしいので報告いたします。

### シベリアの 枯れ野の中に 父眠る

この句は La Movado 2013 にもでています。 en velka kampo ie en Siberio ripozas Pacio

## 第9回国際交流スプリングフェスティバル

はりまエスペラント会は、3月3日イーグル姫路で開催されたスプリングフェスティバルに参加し、パネル展示およびエスペラントミニ講座(講師:塚本猛)を行った。

参加者は総数16人で、内訳は当会会員10人。ミニ講座は当会会員6人(敬称略:稲田正昭、松田邦子、馬場祝栄、多田龍二、大前知子、山岸裕子)、および協力者2人(塚本芳子、橋本さおり)、それに新規受講者2人(小2男児とその母親)が参加。他に会員の佐野邦夫さん、元会員の竹田華恵さん、神戸エスペラント会の赤田義久さんも顔を出された。

なお、ミニ講座終了後には、上記会員と峰芳隆さん、中村雅子さんが出席してはりまエスペラント会の総会が開かれた。

パネル展示では、昨年から少女コミックに連載されているエスペラント関連のコミックや、「エスペラントと平和の条件」(当会会員の中村雅子さん作成の版画が表紙)、「エスペラント俳句の作り方」などを紹介。

ミニ講座では、新規受講者を主な対象と考え、インターネットで公開されている動画(音楽やアニメ、テレビ番組、面白動画など)の紹介を行い、エスペラントの単語にいて話した。小2男児の理解度は高かったが、2時間の講習時間は無理操舵だったので30分早く切り上げた。ミニ講座後に受講の理由を聞いたところ、「ずっと以前に友人からエスペラントの話を聞いて気になっていた。フェスティバルのチラシでエスペラントとあったので見に来た。子供もいろいろな経験をすれば将来の役にたつと思い連れてきた」とのことだった。児童に対する講習は初めてだったが、気持ちが明るくなる出来事であった。







## 来年の関西エスペラント大会, 姫路で開催に - 経緯の説明と協力のお願い

峰 芳隆

昨年秋,当会の KLEG 委員である塚本猛さんに,関西エスペラント連盟 (KLEG) 組織部長で大会担当理事の木元靖浩さん(奈良エスペラント会)から,2014年の第62回関西エスペラント大会の開催をはりまエスペラント会に引き受けてもらえないかという。打診がありました。

その報告と相談を受けた私は、数多くの大会に参加し、また KLEG の事務 局長を 10 年間務めた経験などから、大会のことはよく知っています。しかし、 姫路エスペラント会として開催したのは、1968 年の第 16 回大会(注)だけで、 それ以降大会を開催した経験はありません。また、現在の会員には、大会の開催を担当した人がほとんどいません。それだけでなく、大会に参加したことが ある人が少ないこと、そして自分の健康状態などを考えると自信がありませんので、どうしたものか、と思案していました。

そうこうしているうちに、塚本さんからは、姫路と加古川の例会で相談する と、大会に参加したことがある人を中心に、開催したいという意見があるとい う連絡がありました。

そして, KLEG からは, 事務局と各専門部(組織, 教育, 国際, 図書)が全面的に協力すること, さらにほかのロンド, 特に隣の開催経験が豊富な神戸エスペラント会が協力するという条件提示がありました。さらに, 会場は, 姫路に限らず, 加古川や明石でも, という話もありました。

しかし、会場を確保できるのは姫路しかないということで、そのような条件の中で、どのようにしたら開催できるかということを相談しようということになりました。

ところで、ふだんは、加古川と姫路に分かれて集まっているので、会員の総意を確認する場がありません。そこで、3月3日の姫路国際交流センターのスプリングフェスティバルの機会に、皆さんに集まってもらう場を設けてはどうかということになりました。

しかし、その時間は30分と短いので、事前に、大会とその準備事項と開催するための条件などについて説明し、じゅうぶんに意見交換をすることが必要と思いました。さいわい体調が回復していた私は、2月の加古川と姫路の月例会に出席して、そこで説明と相談をすることができました。

3月3日の出席は9人でした(写真左から、峰、松田、大前、山岸、馬場、中村、多田、塚本、稲田)。事前の相談をまとめた文書を開催のための条件として提出して、それに基づいて話し合いました。

その結果、①KLEGの提案どおりに事務局と各専門部さらに他ロンドからの協力と支援があること、②会場が確保できること、③協力関係にある大本のはりま本苑の皆さんの協力を受けられること、などを条件に姫路での開催要請を

受けることを決めました。

開催日は、「イーグレ姫路」の「あいめっせホール」は、2014年の5月31日(土)と6月1日(日)であれば、先行予約が入っていない。その日程であれば、大本の行事予定と重ならない見込みで協力してもられることなどから、その日程で会場を確保するための行動をすぐに起こしました。

姫路国際交流センターに相談すると、(社)姫路観光コンベンションビューローが紹介されました。各種の大会や行事の誘致と開催支援などをしている組織です。

そこで、3月6日、塚本さんと一緒に訪れ、相談した結果、同ビューローを 通して会場を先行予約できるということで、さっそく「施設先行予約申請書」 を提出し、ホールと会議室を確保することができました。

そのことを3月16日に KLEG 事務所で開かれた KLEG 委員会に報告し、 姫路での開催が決定しました。なお、この委員会には、塚本さんと、私の代理 として多田竜二さんに、出席してもらいました。

このように開催が決定しましたので、開催に向けての準備を始める必要があります。そのための第1回の相談会を4月18日(木)午後2時~5時。「イーグレひめじ」4階のセミナー室Dで開きます。

そこでは、大会の概要を説明します。そして、「開いてよかった」「参加してよかった」と言えるような大会にするためには、どうすればよいか、など、前例にとらわれず、ザックバランに話し合いたいと思います。

なお、本格的な準備活動は、5月24日と25日に和歌山で開かれる61回大会後に始めたいと思います。この和歌山大会をわたしたちの大会準備の参考、あるいは改善の参考にするために、皆さんに参加して体験していただくことをおすすめします。

(la 11an de aprilo, 2013 mine)

## (注) この大会のことは次号で紹介します。



総会出者

# 学習例会の記録

Kie, kiam, kiuj kune lernis?

#### く姫路:国際交流センター>

1月17日:塚本,中村,馬場,三鍋,中橋

2月28日:大前,塚本,中村,中川,馬場,山岸,峰,中橋

3月28日:中村、中川、山岸、三鍋、中橋

学習例会は午後1時30分~4時。

テキストはエクスプレス エスペラント語。

#### <加古川:加古川総合文化センター>

1月20日:多田,南場,馬場,峰 2月17日:多田,塚本,馬場,峰

3月24日: 久保田,塚本,馬場,松田 テキストは Vojaĝo kun Katrina。

# 今後の例会予定

(2013年4月~2013年6月)

Kie, kiam ni kunvenos?

★姫路(午後2時~4時, 姫路国際交流センター)

4月25日(第4木曜日) 第4会議室

5月23日(第4木曜日)第4会議室

6月27日(第4木曜日) 第4会議室

## ★加古川 (午後2時~4時, 加古川総合文化センター)

4月21日(第3日曜日) 会議室3

5月19日(第3日曜日) 会議室3

6月16日(第3日曜日) 会議室3

引き続き、"Vojaĝo kun Katrina"を読んでいます。

読み終えたら "Katrina malfruas", シリーズ第3話を読み進める予定です。

編集後記:落葉樹林の林床で、カタクリなどがつかの間の春を生き急ぐかのように小さな花を咲かせています。このような植物を Spring ephemerals というそう です。エスペラントでは printempaj efemeraĵoj と言うのでしょうか。 Verda Placo も6年目に入りました。更なる寄稿をお願いします。

\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*

"Verda Placo" (みどりのひろば) n-ro 21 2013 年4月 20日発行:はりまエスペラント会 代表 峰 芳隆 高砂市北浜北脇 29-16編集:南場 敏郎 加古川市平岡町城の宮 13A-102 qqce7bm9k@pony.ocn.ne.jp